

秋季 県高校野球

秋季県高校野球選手権は第3日の17日、はるか夢(弘前市)と県営(青森市)の2球場で準々決勝4試合を行った。弘前東は主戦澤田が投げて活躍を見せるなど、1で八工大を破った。八戸工は4番館が3点本塁打を放ち、五所商とのシソーゲームにけりをつけた。青森山田は粘強く打線をつないで加点し、11-4で三沢商に勝利。八学光星は先発山田が完封、打線も本塁打2本が出るなど弘前工を圧倒、10-0で快勝した。青森山田、八学光星、八戸工、弘前東の準決勝2試合は22日、はるか夢球場で東北大会の出場権を懸けて行われる。(本紙取材班)

山田高 × 光星
4強22日に激突
八工 × 弘東



【弘前工―八学光星】1回裏、八学光星1死二、三塁、近藤が左翼席に3点本塁打を放ち、先制。捕手・須藤(県営)

光星初回5得点

弘工好機生かせず

一度も三塁を踏めず。唯一、二塁に進んだ五回も後続が断たれた。今夏覇者・光星貫録の試合運び。今夏の県大会の覇者・八学光星は、弘前工相手に10-0と圧倒。主砲近藤と7番原の本塁打、先発山田の完封と投打に貫録を見せつけた。初回、近藤は低めのスライターを捉え、打球を左翼スタンドに運んだ。「いったん」という感じ。機打を打とうと思っただけで振っていったと、チームを勢いづけた。発を振り返る。完封した主戦・山田は四回まで無安打。完全試合も視野にあったが「少し意識してしまった」と。次戦の相手は「ライバル」の青森山田。「相手も気合が入っていると思う。気持ち充実させていきたい」と気を引き締めた。(秋村有香)

▽準々決勝(県営球場)
弘前工 00000
八学光星 50005×100
(五回コールド)
(弘)西村、瓜田、須藤
(山)山田、太山
▽本塁打 近藤、原(八)
▽二塁打 島袋(八)
▽暴投 西村2(弘)
【評】八学光星は初回に4番近藤、四回に7番原がそれぞれ本塁打を放つなどして大量得点。投げては先発山田が5回を投げきり、被安打2の無失点の好投で圧倒した。弘前工は打線が沈黙し